

シンボルマークの解説

群馬は古くから最新の文化や技術を取り入れ、東国一の地域として栄えてきた。本大会のシンボルマークは、古墳時代の馬埴輪を中央に配し、不易を押さえつつ新しい時代の教育を創造する意志を表した。馬の足下より放射状に広がる市松模様は、飛躍のエネルギーを表している。古来、埴輪にも用いられた市松模様は、東京オリンピック・パラリンピックのシンボルマークでも用いられるなど時代を超え普遍的である。

そして、背景の円形は、平和で美しい世界（地球）を表している。

新たな時代を切り拓く人づくりを、ここ群馬の地から力強く発信するものである。

作成者 前富岡市立富岡中学校長 服部 幸雄